

第19回ベイタウンまつり (5月21日) ガイドマップ

時間は10:00~16:00 雨天順延です。
9:00以降は会場内への車の進入は禁止です。

フリーマーケット (プロムナード)

コロラド前~11番街前、バレンタイン通り
5、6番街前に出店します。車両で搬入する方は
8:00~9:00の間のみ可能です。終了後の搬出
は16:30~17:00の間車両が入れます。ハンド
キャリアの場合は特に制限はありません。

お巡りさんの自転車安全教室

野外イベント会場で、13時から千葉西警察署のベテランお巡りさんによる「自転車安全教室」があります。自転車は手軽で便利な乗り物ですが、ルールを知らないと自分が大事故を引き起こすことになります。

ベイタウンには車がたくさん駐車しているところも多く、車道を走るとは危険に思われます。歩道は歩行者が歩いています。どう運転したら良いのか、自転車の走り方のルールをお巡りさんが分かりやすく楽しく説明してくれます。この機会に自転車運転のルールと危険回避のために日頃心がける主要な注意点を学び、自転車の安全運転に役立てましょう。

今回お話しいただくお巡りさんは、2月の地域運営委員会主催のベイタウン・コアでの2回の自転車安全運転講習会でもマジックを使うなど、楽しく記憶に残る講習をして下さいましたが、更に分かりやすく記憶に残る説明となるよう、ワザを磨いての登場となります。ご期待下さい。(自治会連合会 交通委員会より)

ベイタウンニュースからのお願い

第19回ベイタウンまつりのスナップ写真を募集します。採用分は来月号のベイタウンニュースに掲載させていただきます。お子さんやお友達との記念にどうぞ。メールでベイタウンニュース松村(mazmbtn@gmail.com)までお送りください。

イベントひろば

- 10:00~ ベイタウンまつり開会式
- 10:10~ ロッテマリーズ・キャラクター&M*splash!
ダンス、スポーツカレッジの体感型・作成型・
子供向けイベント案内
- 10:40~ 打瀬子どもルーム(キッズダンス)
- 11:00~ 打瀬中学校吹奏楽部・演奏
- 11:30~ 千葉県立保健医療大学 "ちば食育応援隊"
"カマカニオウタセ"(キッズ・フラダンスショー)
- 12:00~ "カマカニオウタセ"(キッズ・フラダンスショー)
- 12:30~ ダンススケッチ
(子どもから大人までのジャズダンス)
- 13:00~ 自転車安全教室(千葉西警察署)
- 13:30~ ダンスワールドスタジオ(クラシックバレエ)
- 14:00~ 「モアニ・ケアラ」(ハワイの音楽・フラダンス)
- 14:30~ ミルキートワラズ(バントフリング)

模擬店

受付は終了しています。当日受付はありません。



子ども記者が伝える

今僕の学校では…

海浜打瀬小学校6年 井上滉太郎

No.1

海浜打瀬小編

桜の花がきれいに咲いていた4月14日、海浜打瀬小にNPO法人の方々がいっぱいきました。あらゆる国の人々に千葉の魅力を伝える活動をしている韓国、トルコ、アメリカ、イギリス、イタリア、中国の方々です。まずは、自分の国のことを、アメリカ人のCさんが楽しく、また、韓国人のSさんはわかりやすく説明してくれました。特に、トルコ人のPさんは日本語を勉強中で、覚えてたの日本語で伝えてくれ、とても印象的でした。

国のことを教えてもらった後は、僕たちの番です。みんなで「千葉の自慢」を考えました。2020年の東京オリンピックで「フェンシング」などの競技を行う予定の幕張メッセや日本の空の表玄関として活躍している新東京国際空港、千葉県にある「東京ディズニーランド」などがあがりました。イギリス人のGさんは、幕張メッセで行われる「テコンドー」のチケットを買おうと計画しているそうです。



NHK ラジオのアナウンサーの方が、いろいろなグループにインタビューをしているとき、僕は「和食は好きですか？」と外国の方に聞いてみました。すると、中国人のJさんやイタリア人のMさんが「寿司が好き。」と答えてくれました。「僕と一緒に！」と思いました。

今回来てくれたNPOの方々、僕たちが自慢した千葉の魅力を世界の人々に伝えようとしてくれているので、素晴らしいなと思いました。僕も海浜打瀬小の運営委員長として、学校の魅力のみならず、ベイタウンの魅力も探していけたらと思います。

この「子ども記者が伝える 今僕の学校では…」シリーズは打瀬の4つの小中学校とベイタウンニュースの共同企画です。これから1年間、3小学校の主に6年生と中学生が記者として自分たちの学校の行事や学校生活の話題などをレポートします。テーマも、文章も子どもたちの自主性に任せ、できるだけ先生やベイタウンニュースからの誘導や添削はしません。

今月号はその第1回として、海浜打瀬小学校6年生の井上滉太郎君が記事を書いてくれました。井上君とてもいい記事がありがとう。

これからの号もできるだけ学校での子どもたちの生の生活や声が伝えられればと思っています。どうぞご期待下さい。

【ベイタウンニュース編集部】

「経済特区」ってなんだろう ドローン宅配と民泊

4月のはじめ、ドローン宅配デモンストラクションというイベントが3丁目公園でありました。実際にドローンを飛ばしてマンションへの宅配が可能かどうかを確認する実験です。ドローンによる宅配は経済成長戦略のひとつとして政府が推進し、千葉県と千葉市がその特区として選ばれています。



4月11日にベイタウンの3丁目公園で行われたドローン宅配の実験。公園からミラマール屋上まで荷物を運ぶ実験が行われ成功した。

実験は住民にも公開されていたが、参加したのは華々しいドローン宅配の実験に招かれた報道陣が大半だった。

同じころ、ベイタウンでは民泊の受け入れを巡って反対する議決をする管理組合がいくつも現れました。民泊とは外国人旅行者などにマンションの部屋を宿泊先として提供するというもので、5年後の東京オリンピックの際にメッセが競技場となる際の宿泊施設不足を解消することを狙ったものです。これも経済特区のひとつですが、この計画に対して管理組合が反対したことは生活者である住民がNOの意思表示をしたこととなります。

これらの計画は実現されれば確かに魅力のあるものです。幕張ベイタウンを先進的な街として全国に発信することになり、将来高齢化し、人口の減少が心配されるベイタウンにとってこれらの問題を解決し、さらに資産価値を高める絶好の機会になる可能性もあります。

実際、民泊についての管理組合総会での採決では積極的な反対ではなく、状況を見て受け入れることも可能な付帯決議を付ける動きもありました。

一方でこれらの計画はまだ技術的な問題や法的な整備が遅れている部分です。ドローン宅配は事故が起きた際の責任の所在

やプライバシーをどう守るかが未解決で、特区として指定されることはそれらの問題を「やってみてどんな問題があるか」を実験する役割を私たちが受け入れることとなります。つまりメリットもあるけれど、それなりのリスクもあるということになります。

どちらを選ぶかは人それぞれですが、問題によっては管理組合などで住民の意思を決めなければならないこともあります。ドローン宅配は住民と宅配会社との問題と受け止められていますが、配達場所としてマンションのベランダを利用することになると、ベランダは共有部分なので管理組合の許可が必要です。管理組合で反対すればそのマンション全体がドローン宅配の対象外になります。

つまり住民にとって計画を受け入れるかどうかは話し合うべき大きな問題ということになりますが、残念ながら先進的な経済特区という看板が先行し、実証実験など受け入れを前提としたような動きが進んでいます。

千葉市や県にはメリットやリスクを事前に説明しながら進めることを求めますが、同時に住民の間でも話し合うような場が必要ではないでしょうか。

【松村】

「5番街になんだか新しいタイプのお店ができる」。そう聞いて取材したのが2年前。オフィス系でなんだかとてもクールで知的な感じがするのですが、ときどき無料のヨガ教室が開かれたりしています。ペイタウンニュースにもチラシ広告をいただいているので、そのチラシを見ると、保険の取り扱いやマンションローンの借り換え、最近では不動産の仲介にも仕事の範囲が広がっているようです。本当のところはどんなお店なのでしょう。

実はこのお店、今までにどこにもなかったような新しい仕事をする所なんだそうです。事業を始めたのはペイタウン在住の伊東明夫さん。この街で新しい仕事をと夢をもってチャレンジする伊東さんにお話を聞きました

【松村】

伊東さんがオフィスを開いた頃。頭の中にあっただのは冒頭にも書いた保険や税務の相談など個別の案件を扱うことでした。ただその頃から伊東さんは、困っている人や不安を抱えている人の将来をトータルに設計するような仕事をしたかったのだそうです。「自分もお金の面では苦労をしたので分かるのですが、不安や問題がいつまで続くか分からないと耐えられません。でもいつ解決するか分かれば人は頑張れます。その時間と解決の方法を示すのが僕の仕事です」。

これと似たような仕事は最近よく聞きます。ファイナンシャルプランナー（FP）です。人や家族の人生設計を財務面でプランニングする仕事で、すでに国家試験もあり主に保険会社が力を入れています。

でも保険の組み合わせを変えるだけでは



解決できないことはたくさんあります。最近、ビートたけしさんがTVのCMで「本気で他人の人生を心配してくれるヤツなんかいるのか」と言っていますが、何か分かるような気がします。余裕がある人が保険を見直すことで先の心配を減らすことも大切だけれど、今困っている人に向き合うには保険や金融だけではできないでしょう。

例えば相続です。相続と言うと家や土地があり、それを処分して財産をどう分けるかという「幸運な話」を思い浮かべますが、実際にはそれだけではないようです。例えば田舎に残した両親が介護が必要になり施設に入るようなとき。こんなことは僕にも他人事ではありません。

人が住まなくなった家はすぐに傷みます。今社会問題になっている倒壊の危険がある家屋です。処分するにも、親は動けな

い。遠い田舎で家財を整理したり、処分のための事務的な作業も大変です。実はこんな相談を伊東さんは最近よく受けるそうです。

こんな場合は保険や融資といったお金の面だけではサポートできません。法律の問題や場合によっては測量などの土木関係の専門家も必要です。こんなとき伊東さんは持っている自身の資格や知識の他、専門家のネットワークを使って問題を解決し、依頼主の生活を守るようにしているそうです。最近になって不動産の仲介を手がけるようになったのもこのためです。不動産を取引できれば依頼してくる人の問題解決には大きな選択肢が増えます。

相続はひとつの例ですが、伊東さんのところに来る話は、小さいものは自転車保険の相談のような話から、住み替えの仲介まで多種多様です。それこそお客様の数だけのケースがあり、それらひとつひとつに向き合って解いていくのが伊東さんの仕事だそうです。これまでに世の中になかったような仕事。伊東さんはそう思って新しいビジネスを新しい街ペイタウンで始めたのだそうです。

伊東さんのお店の前には街のサークルやイベントの案内がたくさん貼られています。「街の人の情報発信の場としてどなたでも利用して下さい。この場所がみなさんの出合いの場になれば僕もうれしいです」

みすずユナイテッド：043-376-1853

WEB：http://lobofp.jp/

e-mail：info@misuzubay.com

考えよう 打瀬認知症を考える会

テレビや雑誌で認知症が取り上げられることが多くなりました。主な内容は認知症の予防法やケアの大変さ、介護施設の紹介というものです。しかし症状や家庭の条件はみな違うので、受け身で得られる情報には限界があります。そこに能動的に自分のこととして認知症について学び考えていこうという場「うたせ認知症を考える会」がペイタウンにできました。【小原】

「うたせ認知症を考える会」には、現在家族の介護をしている人をはじめ自分や家族が認知症になったときの備えをしたい人、そして専門職の人が参加しています。3月31日に開催されたときは、臨床心理士、介護支援専門員、精神科医がそろい、全体での話だけではなく、グループでのディスカッションや会終了後に個別に話をする場面もあり、誰でも参加して活用できる有意義なものとなっています。

私は遠方に住む認知症の母のところに月に数日帰って日常生活のサポートをします。知識もなく生活の質が維持できればという考えでした。時折自分は認知症に対して何もできないのか、どう進行するのか、徘徊するようになったらどうしようか、と不安を抱きました。そんな思いを気軽に尋ねて解消できるような場所になるだろうかと思ったのが、参加する動機でした。

この会では、認知症の症状変化の流れな

どの一般的な知識を得ることができます。でもそれだけでなく、介護最前線の人の話を聞き、自分の話に耳を傾けてもらううちに、つい下向きになっている心が上を向いたような気持ちになったことに気がきました。そして臨床心理士さんから、「認知症は家族だけではなく周囲の人の理解あるかかわりかたによって進行が遅くなることもあります」と聞いた時、自分のしていたことは無意味ではなく、私なりに寄り添っていけば母はそれなりに普通に楽しく暮らしていけるのではないかと、展望が持てるようになったのです。

会の中でとても心に残ったお話があります。それは、ある認知症の方が某サークルに忘れず喜んで参加する理由は、体の不自由なお友達を支えるという誇りをもってからののだということです。自分が必要とされていると思うことが生きる力になり幸せを感じることができる。よく考えたら、認知

症でなくても誰でも必要とされていると感じると、頑張ろうという気持ちになりますよね。私の母は、ずっと通っていた地域の体操教室が認知症の進行のため断られ、生活の張り合いを失ったばかりだったので、地域でのかかわりの大切さは身にしみて感じました。そしてその認知症の方と自然と一緒にいてくれる人がいるという環境がともうらやましく思えてなりません。

認知症がどうかにかかわらず、人は人の中で生きていくものであり、認知症だからといって区別や隔離をするのではなく、街の穏やかな人間関係の中でしっかり存在して最期を迎えることはとても幸せなこと。そのためにも「介護する人だけでなく地域の人間の助けあうシステムや仕組みがあるといいね」という意見が参加者の声としてあがってきています。

皆さんも認知症についていろいろ学びませんか。ペイタウンを終の棲家を選び、安心して長く幸せに暮らすことができる街に育てていきませんか。次回開催は6月30日(木)午後2時～4時、地域連携センターで予定しています。

連絡先

井上（社協地区部会）Tel 043-211-7667

山本（民生児童委員）Tel 043-211-6900

「テニスの季節」です♪

打瀬3丁目公園にテニスコート（3面）があることを、みなさんご存知でしょうか。イベントを2つお知らせです。

① 毎月、第1土曜日には、打瀬地区スポーツ振興会主催の「球出し練習会」が定例で開催されています。6月は4日（土）9時からです。2時間みっちり汗をかくことができますよ。お声かけてもらえれば、出入りは自由です。16才以上の方であれば初めての方でも歓迎です、お気軽に参加してはいかがでしょうか。

② 5月28日（土）には、スポーツ振興会が主催するベイタウン春季スポーツ大会にあわせて、「ダブルステニス大会（男子W、女子W）」を予定しています（添付は、昨年秋の集合写真）。参加者は打瀬地区限定ですので、懇親もかねた楽しいテニス大会です♪ 多くのペアの参加を期待しています。ぜひ応募してみてください。くわしくは、テニスコートやコミュニティコア、郵便局、各商店などの掲示板などに案内ポスターを掲示していますので、そちらをご覧ください。なお2点ともに、ベイタウンテニスクラブ連合会（会長、桐原さん）のみなさんが運営協力をしています。【スポーツ推進委員 角幡】



「ジュニアコーラス フェアリーズ 新メンバー募集！」 幼稚園年長～高校生

正しい発声でよい音楽を表現することで、優れた感性を育み、自信と喜びが生まれます。始めは恥ずかしいかもしれませんが、仲間と一緒に歌っているうちに、きっと世界が広がっていきますよ！是非いっしょに歌いましょう！！ご連絡お待ちしています。（2016年関東アンサンブルコンテスト一般部門金賞1位）

お問い合わせ：jcfairiesoffice@yahoo.co.jp
<http://jc-fairies.net/>



5月のコア・イベント

5月のわくわくおはなし会はベイタウンまつりのため、お休みです。

5月の寺子屋工作ランドはベイタウンまつりのため、お休みです。

第149回ファッティオリの会（コア文化振興基金後援事業）

日時：5月22日（日）9：30～11：30

場所：ベイタウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファッティオリ」の演奏や他の楽器の演奏、声楽や合唱などに使って頂くことが出来ます。非公開でのご利用を希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。聴きにきて頂くのは、自由です。

最新の情報は <http://www.baytown.ne.jp/core/> をご覧ください。

締切：5月15日（日）

申込先：043-211-0350（須原）

email：suhara-u@kmj.biglobe.ne.jp

打瀬中 ムラサキダイコンの紫

ドローン取材の帰りに打瀬中のバス通り側を通るとナノハナに替わってムラサキダイコンの花が満開でした。3月の卒業式の頃はナノハナの黄色が一杯でしたが、このときはムラサキダイコンの紫が圧倒的で日一日と濃さを増しているようでした。

ナノハナを卒業した旧3年生に例えれば、ムラサキダイコンは新3年生でしょうか。これからは学校の主は俺たちだとばかりに、自信をもって堂々と活動しています。やがてこの道を新3年生が入学したばかりの1年生を引っ張って走ります。



エコパークにオタマジャクシ

ナノハナの季節が終わるので、そろそろタネを集めているのではないかとエコパークに行ってきました。まるで農家ができるようにきれいにナノハナの茎が抜かれ、タネを採った状態で日干しにされていました。

しばらくいると小学校低学年らしき女の子がやってきて、池の周りで遊び始めました。「何かいるの」と聞くと「オタマジャクシ」とのこと。持っている容器を見ると確かに小さいのが一匹いました。子どもたちの話によると、誰か知らないおじさんが時々何匹も放しているのだそうです。この池では夜になるとカエルの声も聞こえるそうで、ここで生まれたオタマジャクシもいるのかもしれない。

